

岐阜中ロータリークラブ訪問卓話

2024年8月6日

テーマ

RIの現況と

ロータリーの「心と原点」



RI第2630地区

2024-25年度

パストガバナー 高橋 伸治

国際ロータリーの概要



「ワン・ロータリー・センター」



RI本部
アメリカ・イリノイ州
エバンストン

世界に6ヶ所の国際事務局

ブラジル・スイス・日本・韓国
インド・オーストラリア
職員 約800人（本部職員 約500人）



国際ロータリーの誕生の歴史

シカゴRC 誕生当時 **親睦と相互扶助**のおかげで、会員企業の商売も
繁盛し、大変満足していた
奉仕の概念は無し

1907年 ポールハリス 3代目会長就任

ポールハリスの会長方針

- ① 「ロータリーは世の為、人の為に親睦で得た利益を社会に還元しなくてはならない。
- ② 「利己主義」からの脱却
- ③ ロータリーの拡大



シカゴRCの分裂の危機 「親睦・互惠派」 VS 「奉仕・拡大派」

* ポールハリスは内紛の責任を取って、3代目会長を途中で辞任

国際ロータリーの誕生の歴史

ポールハリスの思い

奉仕理念の拡大を図り、世界各都市にロータリークラブを拡大していく為には、これだけを行使する独立した団体を作る必要があった

* 当時の16クラブに「連合会設立」の承認を得る

1910年、「全米ロータリークラブ連合会」

1912年 「国際ロータリークラブ連合会」に名称変更

1922年 「国際ロータリー」に名称変更 現在に至る

国際ロータリーの誕生の歴史

全米ロータリークラブ連合会の目的

1. 奉仕哲学の追求と普及
2. ロータリーの拡大
3. 各クラブ間の情報媒体機能

条件：各クラブの**自治権**は守る

RIの役割

クラブから委託（1～3）を受け実施する事

受託機関・連絡調整機関

全米ロータリークラブ
連合会への委託費

ロータリアンが支払う「**人頭分担金**」

* 2023-24年度 75ドル/年
2024-25年度 78.5ドル

国際ロータリーの誕生の歴史

決議 23 – 34

第3項

RIの目的

RIは次の目的のために存在する団体である。

- ① ロータリーの奉仕の理念の擁護、育成及び**全世界への普及**
- ② **ロータリークラブの設立**、激励、援助及び運営の管理
- ③ **一種の情報交換所**として、各クラブの問題を研究し、**強制ではなく有益な助言を与える**ことによって各クラブの運営方法の標準化を図り（中略）社会奉仕活動について、ロータリーの目的の趣旨を乱す恐れのない社会奉仕活動によってのみ、その標準化を図る事

国際ロータリーの誕生の歴史

決議 23 – 34

第5項 **クラブの自治権** (ロータリーの主役はロータリークラブ)

各ロータリークラブは、クラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を**自主的に選ぶことについて絶対的な権利**を持っている

(中略)

そしてRIは、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに有益な示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを**絶対禁じるべきではない**。

*** 2016年の手続要覧では、
「それを命じたり、禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする」**

クラブの特色、個性を打ち出した魅力あるクラブ運営を目指しましょう。

国際ロータリーの現況

クラブ（クラブはRIの会員）

全世界会員数 = 1,166,174人 / 全世界クラブ数 = 36,769クラブ
日本：82,555人 / 2,223クラブ

2019年
ローターアクトクラブ

地区（ガバナーはRIの役員）

全世界地区数 = 520地区 /
日本地区数 = 34地区

* 国際ロータリー
ロータリークラブ
ローターアクトクラブの
連合体

ゾーン・地域

全世界ゾーン数
34ゾーン
全世界地域数 = 41地域

国際ロータリーの構成員

受託機関であり
指示・命令機関では
ない

国際ロータリー
国と地域 = 200以上
RI会長
理事会

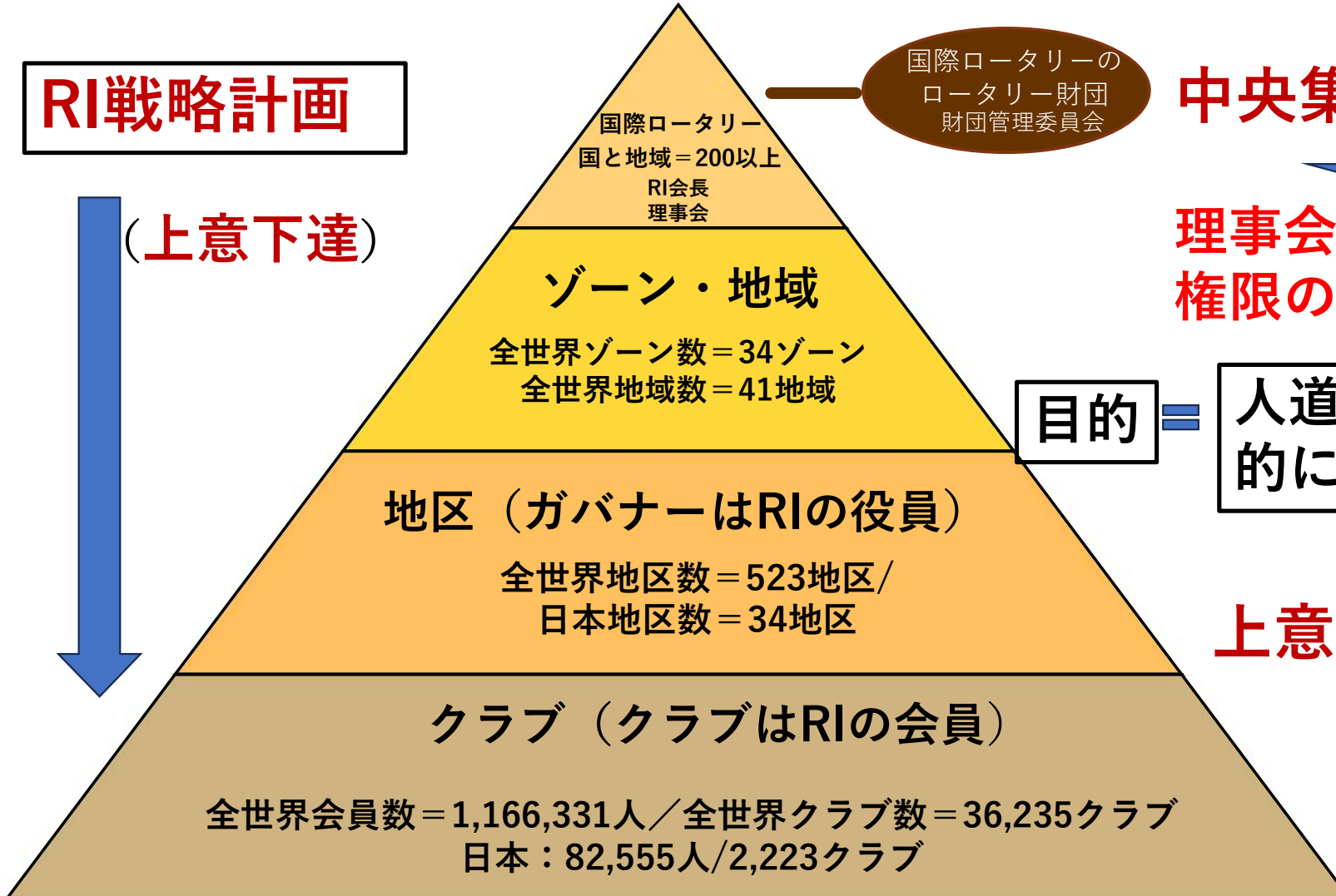
国際ロータリー
のロータリー財
財団管理委員会

国際ロータリーの現況

(近年のRIの現状)

RI戦略計画

(上意下達)



国際ロータリーの
ロータリー財団
財団管理委員会

中央集権的団体

理事会・RI事務局
権限の強化

目的

人道的奉仕活動を組織
的に効率よく運営

上意下達の指導体制

*任意ではあるが
半強制的

国際ロータリーの現況

RIのトップ・ダウン研修システム

RI本部

ZONE (ゾーン) 世界に34ゾーン

地域コーディネーター (RC・RRFC・RPIC)

地区 (ガバナー) 約520地区

ロータリークラブ

ロータリアン



国際ロータリーの現況

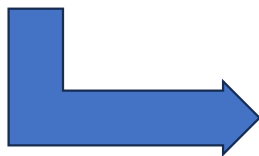
RIの権限（直接監督権）

1. 一業種1会員制
2. 規則的例会出席



現在は、大幅に緩和されている

* 規則に違反した場合



1. クラブの認証取り消し
2. 会員資格の終結

国際ロータリーの現況

RIの直接監督権の緩和

1. 一業種一会員の緩和の流れ

2001年 一業種多会員制に変更

会員50名以下：～5名 会員51名以上：全体の ～10%

2016年 会員種類に大幅な柔軟性導入

例：準会員、法人会員、シニア会員 等

2019年 ①職業分類制度の廃止

2001年の制定規則解除 同一業種何名でも入会が可能

②ローターアクトが国際ロータリーに加入

国際ロータリーの現況

RIの直接監督権の緩和

2. 規則的例会出席の緩和の流れ

- 2016年
- ①例会の開催は最低1か月に2回以上
 - ②奉仕活動の参加も出席扱い
 - ③メーキャップは当該年度中であれば有効

国際ロータリーの現況

RIの方向性が変わっても

「ロータリーの主役」はロータリークラブである

元RI会長：ホルガー・クナーク

「ロータリークラブとその会員はロータリーの大切な基礎を成しています。

ロータリーが形作られるのは、まさにここであり

「エバンストン（RI本部）」ではありません。

「ロータリーの心と原点」を大切に、ロータリーの本質を見失わないように日本のロータリーの成長を目指していく
(不易流行)

ロータリーの「心と原点」

ロータリーの心と原点：

倫理運動体（教育的要素を持った団体）

親睦と職業奉仕理念を根幹として常に奉仕の心を胸に奉仕の実践に努め、自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った真のロータリアンを育てる。



「例会は人生の道場」「入って学び・出でて奉仕せよ」

「ロータリーは心を育て、人を育てる」奉仕団体である

ロータリアンの責務

日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちに奉仕の理念を奨励し、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていく。

ロータリーの「心と原点」

歴代RI会長のスピーチ



1954-55年度RI会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men

「ロータリーは友情を育み、人を作る。 人格者を育てる」

1974-75年度RI会長 William Robbins

Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」

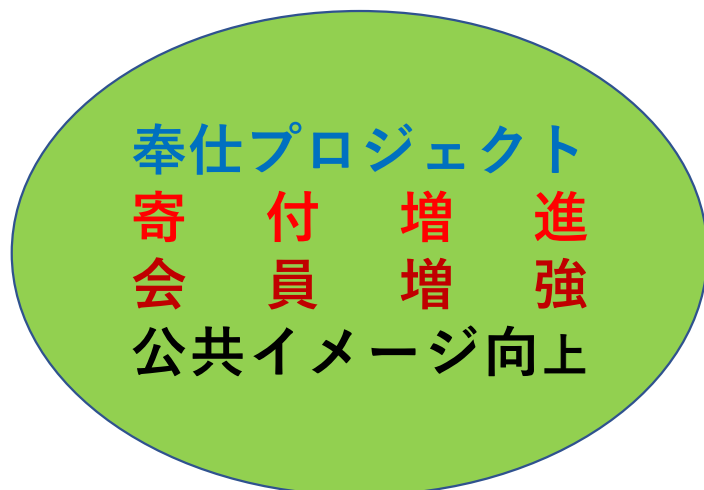
ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、
クラブが如何なる人を育てたかによって測られる。



ロータリーの「心と原点」

理想的なロータリー

ボランティア団体 = 実践



倫理運動体 = 理念



真のロータリアン



例会



ロータリーの
奉仕の理念



ロータリーの「心と原点」

最近のロータリー



世界最大の
NPO団体

ボランティア団体



実践

倫理運動体



理念

奉仕プロジェクト
寄付増進
会員増強
公共イメージ向上

職業奉仕
ロータリー哲学
自己研鑽
人づくり

ロータリーの
奉仕の理念



理想的なロータリー活動とは

米山梅吉翁曰く

「**ロータリーは理論と実践の調和**」の中に宿る
理論も大事ではあるが、実践も大事である
しかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事は
ダメである



※ 近年のRIの行動を予見していた？

ロータリーの「心と原点」

第2630地区2023－24年度地区大会決議

大会決議第11号

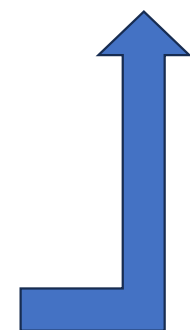
日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議

日本の伝統とするロータリー文化



職業奉仕の理念を奉仕の理念の根幹とし
職業奉仕を学ぶ場、自己を磨く場である例会及び例会出席
が最も大切であると考え
例会出席を奉仕の基本とするロータリー文化であります。

「ロータリーの心と原点」
を大切に



Rotary



ロータリーの「心と原点」

「ロータリーの樹」を大きく立派に育てましょう



ロータリー
を愛する心

岐阜RC 服部芳樹PG 作成



ご清聴ありがとうございました。

